

第22回

'11選抜女子駅伝
北九州大会

- 期 日 / 2011年1月23日 (日)
 - コース / 小倉北区・小倉城歴史の道—
八幡西区・ホテルクラウンパレス北九州
折り返し 32.8km
- 一般の部 5区間 高校の部 6区間



1位でフィニッシュする三井住友海上のアンカー・渋井陽子

一般の部

47秒差なんの渋井が爆走 三井住友海上が逆転初優勝

三井住友海上が底力を発揮し逆転の初優勝を果たした。序盤で差を広げられ、3区までに1分22秒のビハインドを背負う苦しい展開となった。しかし、4区の山下郁代が差を縮め、47秒差でたすきを受けた1万m日本記録保持者のアンカー・渋井陽子が徐々にペースアップ。6km付近で2位の九電工を抜くと、さらに7km付近で全体トップの立命館宇治もかわして首位に浮上。一気に引き離すと派手にガッツポーズを決めてテープを切った。

前回優勝の天満屋は4区の浦田佳小里が区間賞の好走で先頭に立ったものの、5区でエース中村友梨香が精彩を欠き、中盤からフォームのバランスが乱れて後退し2位に終わった。地元の九電工は2区チェビエゴが圧倒的なスピードで首位に躍り出ると、3区でも奥永美香が区間賞をマークし、勢いに乗って3位に食い込んだ。

渋井陽子・三井住友海上5区「私ってすごい。気持ちいい。走ることが楽しいとようやく気づけた」
中村友梨香・天満屋5区「いい動きができていなかった。追いつかれてからも意地を見せられなかった」
片渕博文・九電工監督「流れを作れた。いい年になる」

高校の部

実業団相手にも堂々 立命館宇治2年ぶり奪還

立命館宇治が層の厚さを見せつけて2年ぶりに女王の座を奪還した。4区の池内彩乃が区間新記録を打ち立てて高校勢の先頭に立つと、5区の青木奈波もリードを広げた。6区・奥井ひかりは1.5km付近で実業団の天満屋・中村友梨香を追い抜き全体のトップに浮上。三井住友海上・渋井陽子にかわされるまでの3.5kmにわたって先頭を引っ張り、見せ場を作った。

4区から6区まで全員が区間2位の走りをつないだ神村学園が2位に。昨年優勝の興譲館はアンカー・菅華都紀が、すごみのある走りをみせて区間新記録。順位を二つ上げて3位にはいった。諫早は堅実なタスキリレーを展開。1区の本山芽依が好スタートを切り、2区のエース区間では主将の森智香子が区間2位の快走。3区以降も安定した走りをみせて、07年以来の入賞となる4位に入った。

荻野由信・立命館宇治監督「『全国で注目されるチームになって高校駅伝に挑もう』と話している。(新チームの)いい出だしになった」

奥井ひかり・立命館宇治6区「胸を借りるつもりで走りました」
有川哲蔵・神村学園監督「目標通りのレースができた。でも相手が強かった」

菅華都紀・興譲館6区「現時点での力を知ることができた。これから1年かけて勝負したい」



6区で全体のトップに躍り出た立命館宇治のアンカー・奥井ひかり